

団体名：JAあいちゃんのふれあい市

代表者：清野美智子

所在地：新潟市北区

#### 〔ポイント〕

平成4年5月女性農業者20名で組織化し、直売所の運営を開始。JA 豊栄、新潟市北区農業支援センター、豊栄商工会等と協力しながら、消費者との信頼関係の構築を常に意識し、野菜の対面販売等を実施。

また、学校給食への地場産農産物活用にも積極的に協力。

#### 【活動内容】

##### 1．消費者との交流

毎月1回直売所でイベント「あいちゃんデー」を設けて、会員が調理した旬の野菜の料理を試食したり、レシピの紹介、旬の野菜の割引販売等を行う。

##### 2．品揃え・販売の多様化

加工部会で製造したジャム等の加工品も、ふれあい市で販売するなど、商品の多様化、平成19年から厚生連豊栄病院内の売店で、お見舞い用の果物などを委託して販売。

##### 3．環境への配慮

平成16年度会員全員がエコファーマー認定を受け、環境にできるだけ優しい農業を実践し、また、平成19年度からマイバック利用のお客様にはスタンプを発行、スタンプがたまると地域のゴミ収集時に使用が可能な透明ゴミ袋(豊栄商工会から提供)と交換する活動。

##### 4．学校給食への地場産野菜供給の取組

新潟市北区農業支援センターと栽培ほ場の巡回による提供時期や提供量の検討、学校給食現場と供給の調整等を行っている。

#### 【活動の成果】

当地域では新規の農産物直売所の開設やスーパーでの産直コーナーの設置が相次おり販売額はやや減少しているが、消費者との関わり合いを持って信頼を得ていくことを常に意識している。地元の固定客が多く、地域から根強い支持を得ている。

ふれあい市設立当初は農作業や家事の時間が割かれるなど、家族の理解を得るのも大変であったが、ふれあい市の運営の安定やふれあい市の理念に基づいた取組に対して地域からの支持されていることもあり、荷づくりを手伝ってくれるなど家族も積極的に協力してくれている。その結果、設立当初の目的である女性の農家経営への参画では、農家経営の一つのとして「直売部門はお母さん担当」と確立している会員も多い。